

## 関東甲信越支部長活動報告

2010年5月



支部長 上浪 寛

### 支部執行部からのメッセージ

5月6日の支部総会で新執行部が、5月27日の本部総会で支部長理事が承認され式に関東甲信越支部新体制が始まりました。JIAにとってこれからの2年間は今後の方向性を決定する大切な時期となります。特に新法人制度への移行問題とUIA東京大会の成功は最重要課題です。**法人形態選択**は今後のJIA活動が社会的にどのような立場で展開していくかを定めることとなります。10月の臨時総会での法人形態決議に向けて、支部では7月に東京で開催される地域サミット当日に会員集会を開き、皆様との議論を重ねたいと考えています。**UIA東京大会**は単なる1週間の建築イベントではなく、JIAがよりグローバルで社会に開かれた活動を展開する大切なきっかけとなります。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

### 支部長活動報告

- 6日 支部総会が開催され、第1号議案ではUIA活動支援金が決議され、2010年度活動方針並びに予算が総会承認された。
- 7日 UIA東京大会ツアープログラムについて関東甲信越支部とJOBとの調整会議を設け、具体的な活動に向けて確認を行った。
- 10日 JIA本部理事会が開かれ、総会議案の審議を行った。
- 11日 支部住宅部会総会が開かれ、鈴木利美さんが新部会長に就任された。
- 12日 本部定款改定特別委員会が開かれた。秋開催予定の臨時総会に向けて委員会答申「公益法人」について会員への十分な説明と、2009年度決算の公益目的事業仕分けを早急に行う。
- 13日 アーキテクト・ガーデン実行委員会が開かれ、今年は柳学さんを委員長として、10月下旬に開くことを決定した。
- 14日 本部国際事業委員会が開かれ、国際事業支部活動助成金が今年度は15万円/プロジェクトとなった。(6月申請)7月下旬にUIA本部理事会が東京で開かれる。日本唯一の加盟団体であるJIAがホストとして対応する。7

月29日にはJIA理事並びにUIA東京大会関係者とUIA理事が木材会館で懇親会を開き、親交を深める。当日午後には関東甲信越支部主催のUIA大会連続シンポジウムが同じ木材会館で開かれ、参加者にはその後のパーティーにも参加を促していく。

18日 民主党前田武志議員の朝食勉強会に参加した。神田順さんが率いる建築基本法制定準備委員会総会が開かれ具体的な建築基本法(案)の発表並びにシンポジウムが開かれた。JIA関東甲信越支部とJOB学術部会との調整会議が開かれ、具体的なプログラムの内容並びに企画推進について話し合われた。

20日 JOB広報部会が開かれた。UIA大会を16ヶ月後に控えた今、広報にとってはこれからの1年が正念場だ。

21日 本部定款改定特別委員会WGが開かれ、2009年度決算を地域会まで含めて公益目的事業仕分けを行うミーティングをした。東京都財務局が東京都設計島委託成績評定要項の制定について説明に来られた。

<http://www.zaimu.metro.tokyo.jp/kenchikuhozen/itakuseiseki.html>

UIA東京大会関連イベントであるOpen! Architectureが開催された。

<http://open-a.org/> (5/21-6/13)

オープニングとして江戸桜通りを封鎖し、「三井本館」をバックに東西の旋律による美しい建築賛歌が催された。観光庁の横溝長官が参列された。



24日 千葉地域会総会が開かれ、千葉市の熊谷市長が懇親会に参列された。

25日 UIA支部準備委員会(拡大)が開かれた。JOBからのヒアリングを元に、具体的活動参加を実現するため、詳細なプログラム情報リストを作成し、協議した。今後はUIA大会支部推進委員会と改名され、今までの拡大委員を含めて毎月開く予定だ。午後はUIA大会連続シンポジウムと交流大会が平行して開催された。TEPIAで開催された連続シンポジウムでは作家の井形慶子氏、建築家藤本昌也氏と川向正人氏、大工棟梁の和田勝利氏をパネリストとして迎え、芦原新会長がコーディネートされた。建築家の主な役割は地域への貢献であることを再認識する会であった。建築家会館大ホールで開催された交流大会では、賛助会員の皆様と新執行部との間で率直な

- 意見交換が行われた。引き続き開催された交流セミナーでは日本建築大賞を受賞された新井千秋氏の講演で、氏の新しいものへ挑戦する姿が印象的だった。懇親会では多くの賛助会員の皆さんが出席され、ほとんどの方に最後まで残っていただき大変嬉しかった。
- 26日 東京建築士会総会が開かれ、盛会な懇親会が催された。
- 27日 名古屋で第183回本部理事会、新体制による臨時理事会が開かれた。午後は本部総会、JIA新人賞、25年賞、環境賞、建築大賞の表彰の後、懇親会が盛会の内に開かれた。
- 31日 東京建築士事務所協会総会並びに懇親会が開かれ、UIA東京大会成功に向けたアピールの挨拶をした。時を同じくして「ラージファームの魅力と苦悩」と題したトークが佐藤総合計画細田社長、山下設計田中社長を囲んで行われた。両氏は地方プロジェクトでは、ローカルアーキテクトと積極的にコラボレーションしていることを述べられていた。海外のプロジェクトでは建築主の形態や事業資金の形が多様化しており、それらを束ねるPMの役割が鍵となる。一昔前は危なっかしかった中国でのプロジェクトも日本よりずっと高額なフィーを支払うなど、世界の中での競争力は大きく変化をしている様子だ。国内建築市場が開かれ、国際競争に晒される事態もさほど遠くない将来かもしれない。

この報告書は JIA 事務局に登録されている会員メールアドレスへ送信しています。

支部長活動報告 2010年5月

2010年5月31日作成 上浪 寛

UIA  
2011  
TOKYO DESIGN  
2050

September 25 - October 1, 2011